

競争を生き抜く代理店

(株)日本シンクタンク 代表 那須顯一

25

TEL06-6282-6488(代)
http://www.j-thinktank.com/

努力と勇気でチャンスをつかむ

合併・新設・廃業が増加

規模拡大が生き残り策か？

皆さんご存知の通り、先月末の衆議院総選挙で、民主党が圧勝し政権が変わります。地方自治体首長からの権限委譲の強い要求や、インフルエンザの流行等、政治、社会問題が山積みですが、新政権に変わることで、いろいろな面で「チェンジ」に期待したい！

先日も金融庁から、保険会社に対する「ソルベンシー・マージン比率の基準格化の骨子(案)」が発表されました。これは破綻した大和生命のソルベンシー・マージン比率が2008年3月期で55%と、金融庁が改善計画の提出などを命じる早期是正措置発動の基準(200%以下)を上回っていたことを受けての流れですが、以前にも書いた保険版BIS規制に加え、保険会社は年々資本増強を迫られる時代になってきました。生保・損保ともまだ再編を迫られるように、今後保険代理店はますます保険会社から業務改善を迫られ、合併・新設・廃業を繰り返していきま

か？否か？は別にしても、今年例年以上に合併・新設・廃業が増加しているようです。一部では吸収する側の中核代理店は特需とばかり、一つでも多くの代理店を傘下に入れようと吸収候補の代理店のリクルート合戦をし、手数料を上げ(管理費を下げ)お金のメリットで「選ばれる中核代理店」になろうとする話か？。しかし、それが本当に代理店としての「生き残り策」なのでしょうか？

大事ですが、合併する前に、相手のマージン戦略・業務品質レベル・財務内容は、把握するべきです。これからの保険代理店は、今以上に毎年の業務品質のレベルアップが求められ、ますますスピードアップが必要となります。ただ、そのスピードに呑まれ、自分自身を見失わないように、沈着冷静に考えましょ

合併等は冷静に判断

自社でできることに取り組む

「顧客サービスの充実」へ投入するシステムの構築費、人件費等の経費が手薄になりますので、トータルとしてレベルを維持できなくなる可能性があります。また、新規獲得に無策であれば、毎年規模を拡大しながら毎年減収と言ふ事態になり、早々にこの中核代理店も他社中核代理店に吸収してもらわないと、手数料が維持できなくなり、自分が参画した中核代理店が、毎年吸収され、毎年所属会社が変わるというのでは、身内も契約者もそして自分自身も不安なものでしょう。

従って我々代理店は、年々品質改善のレベルを上げ続けることができると、今の手数料を維持できるのです。例えば、マージン戦略も無く、ただ合併するだけで「規模の拡大」を目的と、そのために傘下代理店に手厚く手数料を支払っている中核代理店があるとしたら、「規模の拡大」を重視するあまり、当然、目先の手数料は

代理店に求められる業務品質のアップ

「もうすぐ祇園祭です。さぞかし四条御所は賑やかなことでしょうね。その節にはわざわざ京都駅までお見送りに来て頂き感謝しています。実は松江に帰ってから、疲れから体調を崩してしまい、外出することも控え、自宅に寝ておりました。貴方様からのメールや電話が楽しみになっていきます。保険の件で少し相談したいことがありますので、お暇な時にでもご連絡下さい。」7月初旬、松江に引越したKさんからメールが届いた。電話に出た彼女の声は、春先とは随分変わったように、会話するに感じられた。お盆を控えた8月11日、「もうすぐご入院されて一月になろうとしていますが、体調はいかがですか？」私のメールにすぐ彼女から返信が来た。「いつもありがとう！が…声は聞こえているの、女の復活を祈っています。治ることはないけど…呼吸困難をどうにかします。ありがとうございます。」翌日、入院先をネットで調べ、面会時間を確認、(CITP) 瀬戸内 青空

私にとって特産品は

貴女の笑顔

午後3時からだった。J Rの高速バスなら京都駅を午前9時30分に出発すれば松江駅到着は午後2時35分。タクシーで5分。よし！これで行くてみよう。Kさんの携帯にその旨を発信した。返信があった。それは彼女自身からではなく、付き添いで、お気持ちだけあり、日改めて連絡させて頂きます。」

「メールあります。」彼女が入院する前、僕もお世話になっておりました。母は病状が悪化し、先週から寝たきりで動けなくなりました。今は薬で眠ったままです。せっかくメール頂いたのにすみませぬ。Kさん、今までたくさんのお友達を紹介して頂きました。みなさん、女の復活を祈っています。私にとっての特産品は貴女の笑顔です。だから約束だけは絶対に守って下さいね。すくすく待っていますからね。

入院されたKさんへ

貴女の復活を祈っています

「16日に入院することになりました。今度ばかりは、電話に出た彼女の声は、春先とは随分変わったように、会話するに感じられた。お盆を控えた8月11日、「もうすぐご入院されて一月になろうとしていますが、体調はいかがですか？」私のメールにすぐ彼女から返信が来た。「いつもありがとう！が…声は聞こえているの、女の復活を祈っています。治ることはないけど…呼吸困難をどうにかします。ありがとうございます。」翌日、入院先をネットで調べ、面会時間を確認、(CITP) 瀬戸内 青空

争奪保険マーケット

生保営業第一線 ⑨6

<197>